



ていえる ちゃんがいく!

- 特集 P1~2
平成29年度男女共同参画週間イベント報告
「継承しよう~女性たちのあゆみを~」
- 誌上講座 P3
「女団協の50年のあゆみとこれから」
沖縄県女性団体連絡協議会会長 大城 貴代子
- 新連載** / すてきなあなたにインタビュー P4
女性が輝くこと~ロールモデルをたずねて~
「あなたにも幸せになってほしい」
にじのはしファンド代表 糸数 未希
- 講座報告&講座案内 P5~6
- ていえる図書情報室だより&賛助会員のご案内&相談室のご案内
編集後記 P7

平成29年度男女共同参画週間パネル展 6/23 (金) ~29 (木) 男女混合名簿にまつわるエトセトラ

沖縄県での男女混合名簿の導入状況

全国と沖縄県との比較 (出典:2017年3月23日 沖縄タイムス)

全国での実施率	沖縄県公立校での実施率
全国の小中高校で 約8割が導入済み (日教組調べ)	小学校 … 29% 中学校 … 22%

沖縄県内での導入について

「沖縄県教育委員会は、学校で使用される名簿で性別を区別しない「男女混合名簿」の導入を推奨する文書を3月16日に各教育事務所、17日に県立学校にそれぞれ送った。…略…混合名簿導入は、各市町村の教育委員会や各県立学校が判断するため、文書には強制力がない。(2015年4月1日 琉球新報)」

小中学校100%導入済の市町村 (平成28年度現在)

- 今帰仁村
- 北谷町
- 浦添市
- 宜野湾市 (2017年4月1日)
- 西原町
- 北大東村

男女混合名簿導入済の学校数及び実施率 (沖縄県教育庁 義務教育課調べ 平成29年度)

	公立小学校		公立中学校	
南部地域	22校 / 88校中	25%	7校 / 46校中	15%
中部地域	22校 / 74校中	30%	10校 / 36校中	28%
北部地域	16校 / 50校中	32%	6校 / 28校中	21%
宮古・八重山地域	16校 / 54校中	30%	9校 / 35校中	26%

南部地域 (14市町村) : 那覇 南風原 豊見城 八重瀬 尚城 与那原 糸島 久米島 渡嘉敷 読谷 読谷 読谷 読谷 読谷 読谷 読谷 読谷
中部地域 (10市町村) : つるぎ 沖縄 読谷 読谷 読谷 読谷 読谷 読谷 読谷 読谷 読谷
北部地域 (2市町村) : 伊平崎 伊平崎 今帰仁 本部 伊江 大宜味 大宜味 大宜味 大宜味 大宜味 大宜味
宮古・八重山地域 (5市町村) : 宮古島 多良間 石垣 竹富 与那国

H29男女共同参画週間パネル展 (公益財団法人おきなわ女性財団)

これからの沖縄のために

男女共同参画に関する計画の策定状況 (市区町村) (沖縄県男女共同参画センターH29.1月)

(平成28年4月1日現在)

沖縄県順位: **4.4位** / 47都道府県中

策定率100%の都道府県 … 11都府県
全国平均策定率…73.8%
沖縄県の策定率…43.9%

100% (11都府県)
全国平均73.8%
沖縄県43.9%

沖縄県内での男女共同参画行政推進状況

【評価の指標となることから】

- 男女共同参画に関する条例・計画
- 市町村における推進体制
- 政策・方針決定過程における男女共同参画
- 関係団体との連携・協働

男女共同参画社会に向けて沖縄はまだまだ伸びしろがあるね。

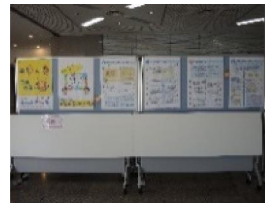
順位	市町村名	点数				前年度順位	
		I	II	III	IV		
1位	沖縄市	25	20	18	15	78	2位
2位	北谷町	25	16	19	15	75	4位
2位	糸満市	27	19	14	15	75	5位
4位	那覇市	30	20	18	5	73	3位
5位	浦添市	27	20	15	10	72	7位

平成29年度市町村における男女共同参画計画策定状況
沖縄県子ども生活福祉課(平成29年度)・男女共同参画センターH29.3

H29男女共同参画週間パネル展 (公益財団法人おきなわ女性財団)

展示したパネルの一部を掲載

展示内容：期間中ていえる1階エントランスにおいて、男女混合名簿導入推進のため、その重要性及び必要性について各種データを用いながら全18枚のパネルを展示。
※パネルの詳細については、(公財)おきなわ女性財団のホームページをご参照ください。



継承しよう～女性たちのあゆみを～

日時：2017年6月27日（火）14：00～17：00 会場：ているるホール

【DVD 上映】上映した女性たち：照屋秀さん、眞玉橋ノブさん、赤嶺千壽さん

【トーク】コーディネーター：大城貴代子さん（沖縄県女性団体連絡協議会 会長）

パネリスト：与那嶺清子さん（沖縄県母子寡婦福祉連合会 会長）

下地孝子さん（沖縄県看護協会 副会長）

崎原末子さん（沖縄県女性の翼の会 副会長）

【フィナーレ】与世山澄子さんの Jazz Live

北島角子さんの一人芝居「針突（はぢち）」の記録映像の上映

復帰 45 年をむかえた沖縄、今年の男女共同参画週間のイベントは、先輩たちからのバトンを受け継ぎ、若い女性たちへとつないでいくために「継承しよう～女性たちのあゆみを～」と題し、復帰前後に女性たちの人権尊重と自立、地位向上に奮闘した女性たちのあゆみを貴重な映像やトークで振り返りました。フィナーレでは、沖縄の芸能界をリードしてきた二人の「すみこ」、与世山澄子さんの Jazz Live、北島角子さんの一人芝居「針突（はぢち）」の記録映像の上映をしました。

映像でたどる

3人の女性たちの足跡

主にインタビューで構成された資料映像で紹介。



照屋秀さん

(1910～2008)

沖縄県母子寡婦福祉連合会初代会長。

戦争で身内を亡くした遺族の援護と母子寡婦福祉に邁進。



眞玉橋ノブさん

(1918～2004)

沖縄県看護協会初代会長。戦後の保健医療・看護分野に貢献、

「ナイチンゲール記章」受賞。



赤嶺千壽さん

(1923～2011)

元沖縄県女性団体連絡協議会会長、沖縄県女性の翼の会

初代会長。強力なリーダーシップを発揮し、女性の地位向上に活躍。

男女共同参画社会づくりの

あゆみを進めていくために

3 名のパネリストが資料映像を見た感想や各々の思い出、これからの男女共同参画社会に向けての討論を行いました。



照屋秀さんについて



パネリスト
沖縄県母子寡婦福祉連合会会長
与那嶺清子さん

母子会設立に
尽力された照屋

先生は、自らも戦争未亡人であり大変な苦勞のなか、子育てをした経験があったことや設立のために寄附金集めに奔走、私財も投じて母子会を設立したとお聞きしています。

また、母子会設立以前の遺族連合会婦人部長時の功績を紹介。本土では活用され、沖縄では取り入れられていなかった母子福祉資金貸付制度を、米軍統治下当時の厳しい状況での運動や陳情を重ね、導入したのも照屋先生だったとお聞きしています。今ある児童扶養手当についても陳情等を頑張られたとのこと。

今後の取り組みとしては、照屋先生の自分史の「子どもがすくすくと成長し、善き時代の担い手になっていただきたい」という言葉を紹介し、子どもの貧困が社会問題化する中で、この原点にもう一度立ち返り、この思いをしっかりと受け継いでいきたい。具体的には、ひとり親世帯の就労支援など、制度を皆さんにしっかりと知らせ、浸透させていき、制度を有効に活用してもらい、女性たちの自立を支援していきますと述べました。

眞玉橋ノブさんについて



パネリスト
沖縄県看護協会副会長
下地孝子さん

眞玉橋先生は、沖縄の臨床看護の礎、看護教育の基盤を築いた、看護界では神のような存在。先輩からの聞いた話だと眞玉橋先生は凛としていて、厳しい方。ただ厳しい中にもひとりひとりの看護師やスタッフをよく見ていて困ったときは、スッと手を差し伸べる方だったとのこと、戦時中のエピソードですが、学生を引率して、ご自分も師長として壕の中で傷病兵の看護していたときのことで。手術するまでもなく亡くなった方（遺体）を壕の外へ運んでやる（捨てるの意味）のも学生の役割だったそうで、いつもは夜に行っていたそうですが、その日は昼に行かなければならず、昼は弾が飛んでくるので誰が先に出るかもめていたそうです。そこへ眞玉橋師長が来て「あなたたち、何をしているの？ かしなさい」と言って亡くなられた方の両脇に両手をスッといれて持ち上げ、外へ出て、しばらくしたら何事もなかったように帰ってきて「あなたたちが怪我をしたら大変でしょう」とおっしゃったと。

今、私たちに問われているのは、超高齢化社会に突入し、急性期・慢性・療養・介護と医療が分割していて、在宅でどのように介護していくか、医療を提供していくかということです。自治会や婦人会など、地域と連携して地域包括支援を充実させていきたいとの抱負を下地さんは語りました。

赤嶺千壽さんについて



パネリスト
沖縄県女性の翼の会
副会長 崎原末子さん

沖縄県は 1984 年にグローバルな視

点で活動するリーダーを育成する目的で沖縄県女性の翼事業を実施しました。第 1 期宮里悦団長をはじめ 21 名がアセアン 4 カ国に飛び立ちました。その 3 年後の 1987 年に会員同士のネットワークづくりが必要ということで、赤嶺先生が呼びかけ、「女性の翼の会」が結成されました。女性の翼事業は、最初、県で進めていましたが、現在は「女性の翼の会」が翼事業を実施しています。翼の会で育った会員が現在では、市町村議員、各種審議会委員、人権、福祉、教育、専門職、女性起業家など多岐に渡ってリーダーとして活躍しています。

昨年 30 周年の記念事業に取り組み、記念誌（「飛翔～世界を紡ぐ沖縄（ウチナー）の女性たち～」）を発行しました。先輩方の原稿の多くが、継承していこう、また受け継いでいきたいという意思、言葉が詰まったものでした。インターネットだけの見る知識ではなく、やはり、今日のこの場もそうなんですが、先輩と後輩をこの場で教育する。マッチングといいましょうか、そういうことが継承していくには一番大切なことではないでしょうか。

今後の取り組みとして、地域社会でしっかりとひとりひとりの会員が活動できるように、人材リストの作成をはじめ、様々な活動を進めています。赤嶺初代会長や諸先輩が築いてきたこの歴史ある志をしっかりと受け継ぎ、男女共同参画社会の実現のために今まで以上に努力していきたいとの意気込みを崎原さんは語りました。

トークの結び



コーディネーター
沖縄県女性団体連絡
協議会会長
大城貴代子さん

復帰後 45 年の女性のあゆみは、保護から平等、そして平等から今はすべての女性が輝く社会へ

と、女性活躍推進法ができて制度的には随分進んできていますが、世界のジェンダーギャップ指数（世界経済フォーラムが平成 28 年 10 月に発表）を見ますと、144 カ国中、日本は 111 位で実態はまだまです。これからすべての女性たちが輝く社会を実現するためには、まずみんなで行動を起こす必要があるのではないのでしょうかと会場に呼びかけ、トークを結びました。

二人の「すみこ」が織りなす 珠玉の世界



沖縄のジャズの女王、与世山澄子さん



観客を魅了した感動のライブ
若いころと変わらない歌声を披露、会場は大きな拍手喝采に包まれました。



生命のいとおいさと平和への思いを
舞台上で伝え続けた北島角子さん
今年 4 月にご逝去され、もう一度、北島さんの一人芝居を観たいと望む声が多くありました。こころに沁みる一人芝居でした。

女団協の50年のあゆみとこれから

おおしろ きよこ

沖縄県女性団体連絡協議会会長 **大城 貴代子**

婦団協(現 女団協)ってご存知ですか?

70代以上の方でしたら、宮里悦さん、伊波圭子さん、赤嶺千壽さん(いずれも故人)など頼もしい沖縄の女性リーダーが率いる闘う女性集団という印象をお持ちでしょうか。

女団協は、復帰前の1967年9月30日、那覇市の教職員会館で結成されました。沖婦連や教職員会・自治体の労働組合・沖農協・沖青協・遺族会婦人部等12の婦人団体等が「生活の向上をはかり、婦人の権利と子どもの幸せのために力を結集します」と立ち上げた組織です。諸物価値上げ反対、保育所増設、母子福祉法・売春防止法の早期制定などの要請決議と大会アピールを全会一致で採択。私はこのときの感動を今も忘れることができません。

男女共同参画は当たり前、女性の輝く社会といわれている今日、女団協の長い闘いの歴史があったことをぜひ知っていただき、未来をきり拓く若い女性たちにバトンを渡したい。今年は、結成から50年の節目を迎えることとなりますが、婦団協の運動はその時の社会情勢やリーダーの交代などで第一次婦団協、第二次婦団協、第三次女団協に区別されますのでそのあゆみをご紹介します。

祖国復帰に向かって—

(第一次婦団協 1967～1975年)

12 団体で発足)

祖国復帰運動の盛り上がりとともにスタートした婦団協は、物価値上げ反対消費者大会や新聞の不買運動の展開など暮らしと平和を求める闘いが中心

でした。復帰に伴うドル切り替えや特別措置に関する要請(東京行動)を日本政府へ迫り、さらには自衛隊配備反対婦人総決起大会など闘う女性団体でした。

国際婦人年行動計画を实践する—

(第二次婦団協 1978～1983年)

15 団体で発足)

復帰が実現し、本土組織との一体化がすすみ婦団協は弱体化し休眠となりました。

そこへ国際婦人年(1975年)が訪れ、県に婦人担当が配置され女子差別撤廃条約の批准や男女雇用機会均等法制定の闘いが世界的規模で取組まれるようになり、女性たちは再結集し第二次婦団協が始動。「トーターメー」は女でも継げる、無国籍児の問題、夫婦共働き規制反対、バスガイド35歳定年など3・8国際婦人デーの集会を通して沖縄の男女差別に声をあげ全国へ発信してきました。

男女共同参画社会の実現に向けて—

(第三次女団協 1987年～現在)

24 団体)

女性たちを取り巻く法制度が整い、婦人問題から男女共同参画社会へと移行し女団協の運動はゆるやかな連帯行動の場として再スタート。学習活動を中心に女性総合福祉センター(現沖縄県男女共同参画センター「ていりる」)の設置や女性の登用要請、活躍する女性の祝賀などゆるやかに連帯する組織へと移行し現在30年続いている。

しかし、「平和なくして男女の平等無

し」。変わらぬ闘いは基地問題に翻弄されつづけ、復帰45年過ぎても70%の米軍基地を抱え、事件・事故に対する抗議行動は今日なお続いていることです。

これからの女団協は、如何にして「平和・平等・発展」を燈しつつ、女たちから女たちへと運動を継続していくかが問われています。

女団協50周年記念事業のご案内

女団協は復帰30年に結成35年記念事業として記念誌を発刊しましたが、今年はそれ以降の活動記録等をまとめた50周年記念誌編纂作業を現在進めています。

また、来年(2018年)2月3日(土)の「新春のつどい」では、高齢社会をよくする女性の会理事長の樋口恵子さんをお招きし、50周年記念講演会を開催します。皆様のご来場をお待ちしております。



1940年山口県宇部市生まれ。青年団活動とおして結婚、沖縄へ。県庁職員となり、女性政策室長、生活福祉部

長、文化環境部長などを歴任。退職後は、北谷町、南風原町、嘉手納町、西原町、南城市などの男女共同参画会議や懇話会の会長を務め、男女共同参画社会づくりや労働・福祉の問題にかかわる。

2016年5月、沖縄県女性団体連絡協議会会長に就任。

女団協：沖縄県女性団体連絡協議会

婦団協：沖縄県婦人団体連絡協議会

女性が輝くこと～ロールモデルをたずねて～

あなたにも幸せになってほしい

いとかず みき
にじのはしファンド代表 系数 未希さん



国は「すべての女性がかがやく社会」の実現を目指し、取組みを進めています。今、沖縄の女性たちが輝くために必要なのは何でしょうか。

さまざまな場で活動を続けている方へのインタビューを通し、みなさんと共に考えていきたいと思っています。

第1回目は、「にじのはしファンド」の代表 系数未希さんに聞きました。

にじのはしファンドの活動内容

県内の児童養護施設・ファミリーホーム・里親家庭出身の子どもたちへ、給付型奨学金で支援を行っている団体です。2011年に発足しました。去年(2016年)、支援をした子どもたちは24名で、1人当たり月額1万5千円～6万円を支給。家賃、寮費、教科書代などに活用しています。この子どもたちを支えているのが、毎月1口1000円の寄付を頂いている県内外のサポーターです。

ファンドでつなぐ、心のきずな

子どもたちのことを身近に感じてもらうことを大切にしている、毎月ブログに子どもたちの声をアップしたり、年2回お便りを送付したりしています。6年前はサポーターが100名超えてもびっくりだったのですが、サポーターが自ら広げてくださって、今は500名を超える大きな会になりました。サポーターの支援は金額以上にたくさんの想いが集まって、子どもたちの未来を大きく広げる応援になっています。

自分で選べる選択肢を提供したい

子どもたちには、進学することで自

信をつけてもらいたいし、学びや出会い、バイトなど学生としての経験を積みながら、時には少しはめはずして、楽しめる時間のもてるゆとりができればいいなと思います。

そして、失敗しても「人生終わった」ではなく、安心して失敗できる、安心してつまづける環境や人間関係を提供できればと思っています。卒業までサポートしますが、卒業が目標ではありません。学ぶなかで、別の道に進むこともありです。選択肢を自分で選べるっていうことが大事。あくまでも私たちは選択肢のかけはしをわたすのが役割だと思っています。

ゆう君との出会い

ファンドを作るきっかけは、1人の学生、ゆう君との出会いです。バイトをしても奨学金を借りても中退になってしまうという状況を知って、毎月1口1000円の寄付を募り、彼に仕送りをして卒業させることをまずしようと思いました。みんなにこんな状況の子がいるってことを知ってもらいたかったし、知ったら応援したくなるだろう、必死に回れば、私と同じ気持ちの人を絶対探せると思いました。1年後には彼を支える以上の寄付が集まったので、県内の児童養護施設などに支援の申し出を行いました。

ゆう君を卒業させたいって気持ちで始めましたが、ゆう君のおかげでたくさんのお子と出会えました。子どもたちを支えてくれている素敵な大人たち、100%ボランティアのにじのはしファンドのメンバーと共に、楽しく

笑顔で活動しています。超楽しい！こんなに楽しい活動をしていいのかな、おいしいとこどりじゃないけど・・・、本当にもらいっぱなし！私、一番、得しているかもしれない。

ボランティア休暇

私が勤めている沖縄電力(株)には、公の組織等から依頼のあるような地域貢献活動にあてることができるボランティア休暇というのが年4日間あります。会社員としての立場を持ちつつも、ある時間を使って、できることをしています。ほかの人からみると、なんでこんなことしてるの？って思うかもしれないけど、私にとっては当たり前。自分ができることをだれかが必要としていたらそれを提供したい。幸せと一緒に探したい、そう思っています。

ありがとうを繋いでいくこと

他人の役に立っているということを実感できたら、人は輝くと思います。当たり前だと思われているところに、私たちはもっと目をむけていいと思います。支える人も支えられる人も合言葉のように「ありがとう」を繋いでいく。それが私たちの輝く生き方だと思います。

系数 未希さん プロフィール

1972年那覇市生まれ(復帰っ子) 那覇市在住。
沖縄電力(株)お客さま本部那覇支店勤務。
早稲田大学社会科学部卒。(変わり者が多い)
「保育すけっと in ナク」、「にじのはしファンド」、「にじの森文庫」代表。「ほのぼのプロジェクト」共同代表。
趣味：読書(マンガ大好き)、子連れ旅行、映画鑑賞
家族：時々主夫の旦那、元氣な不登校の中3長女、マイペース韓流イケメン風小5長男の4人家族に猫3匹
信念：自分が動けば周りも動く

おすすめ!

講座案内

夏休み子ども講座

★チョークアートでマグネットを作ろう!

特殊なチョークと技法を使って描く鮮やかな色合いの新しいアート。
描く人の体温や季節気候によって描く絵が変化します。



- 8月3日(木)、10日(木) 10:00~12:00
- 3階創作室
- 定員: 15名
- 受講料: 1回につき800円
- 講師: 佐藤由樹子さん(チョークアートゆらり沖縄代表 CDジャケット製作やワークショップを開催。)

★石けん粘土で工作を作ろう! 親子で参加

自然にやさしく、自由にいろんな形ができる石けん粘土で夏休みの工作を作ろう!

- 8月5日(土) 10:00~12:00
- 3階創作室
- 定員: 15名
- 受講料: 1組500円
- 講師: 岩田うみさん(Lycka主宰 ハンドメイド石けん協会認定シニア・ソーパー)



★漆喰で貯金箱を作ろう! 親子で参加

沖縄産の漆喰と赤瓦を使ったシーサーの貯金箱の作り方を教えます。

- 8月6日(日) 10:00~12:00
- 3階創作室
- 定員: 15名
- 受講料: 800円
- 講師: かかずかずこさん(漆喰シーサー作り指導歴20年 メイクマン手作り教室、児童館公民館で講師を務める。)



主催&お申込みは沖縄県男女共同参画センター管理運営団体 098-866-9090

★ハンドメイドアクセサリー講座

初心者でもオリジナルアクセサリーが楽しく作れるようにお手伝いします。7月はネックレス作り

- 7月13日(木) 14:00~16:00
- 3階創作室
- 定員: 15名
- 受講料: 2500円
- 講師: すなかわ織江さん(&U主宰 ママとベビー&キッズのためのイベント「ゆるり」にて毎月出店。)

★カレーマイスターによるカレー講座

様々なスパイスの効能を学びながら、オリジナルスパイスでカレーが作れます!

- 9月20日(水)、27日(水)の2回 11:00~13:00
- 3階生活実習室
- 受講料: 1回につき2000円
- 講師: 下地友香さん(野菜ソムリエ協会認定カレーマイスター)
- 定員: 15名

★楽しく歌おう! 童謡・唱歌講座

誰もが知っている「童謡・唱歌」を気軽に大声で歌ってみましょう!

- 毎月第2水曜 14:00~16:00
- ているサロン
- 受講料: 500円(月1回)
- 資料代: 300円(初回のみ)
- 講師: 福井貞幸さん(那覇市内の公民館などで童謡・唱歌指導)
- 定員: 15名

主催&お申込みは沖縄県男女共同参画センター管理運営団体 098-866-9090

★知っておくとイイ! 認知症の基礎知識

介護施設で働く職員から、認知症の基礎知識や心得ておくといいいコミュニケーション手法などを学びます。

- 7月29日(土) 14:00~16:00
- 研修室1・2
- 定員: 40名(定員に達し次第締切)
- 受講料無料
- 講師: 神谷進さん(沖縄県認知症介護指導者 介護老人保健施設友愛園)
- 一時保育有り※申込締切7月21(金)

主催&お申込みは(公財)おきなわ女性財団 098-868-3717

ているる図書情報室だより

『皿洗いの、どっち? 目指せ、家庭内男女平等!』

(山内マリコ 著 出版年:2017年 出版社:マガジンハウス)



男がいるだけで家事が3倍?
汚れた皿を前に「家事は女がするもの」との内圧に負け、テレビの前に寝転ぶ男を尻目に今日もスポンジを握る。共働きなら分担は半々に…、と思いながらも現実には簡単にいきません。
「女のいいぶん」、「男のいいぶん」の両方を交えながら、家庭内男女平等をめざし模索・奮闘する日々をコミカルに綴ったエッセイです。一読しながら家庭内男女平等について考えてみてはいかがでしょうか。

<ているる図書情報室>女性問題・ジェンダー・子育て等に関する図書資料を中心に揃えている専門図書室です。

- ・開室時間:9:00~20:00(火~土) ※日曜は~17:00まで
- ・休室日:毎週月曜、毎月第1水曜、年末年始、特別整理期間 ・お問合せ:098-868-4077(直通)

賛助会員入会・継続のご案内

当財団の活動に賛同し、一緒に歩んでくださるみなさまのご入会をお待ちしております。

頂いた会費は各種事業などに活用させていただきます。

- 特典:情報誌「ているるちゃんがいく!」や講演会・講座情報などを文書にてお知らせいたします。講演会や講座等へ優先的に参加、当財団が主催する有料講座は会員価格で受講できます。
- 年会費:個人会員:3,000円 学生会員:2,000円 団体会員:10,000円

(公財)おきなわ女性財団(098-868-3717)までお問合せください。

ているる相談室

ているる相談室では、
様々な悩みや問題に関する相談を行っています。
相談は無料(通話料は相談者負担)です。
秘密(スライバシー)は厳守します。
ひとりで悩まずにご相談ください。

女性相談

相談 **098-868-4010**

- ・電話相談:火曜~土曜 10:00~20:00
- ・来所相談:要予約 10:00~16:00
- ・国際相談:要予約(月1回)

特別相談 来所、要予約(各々月1~2回)

法律相談、こころの健康相談、国際法律相談

※お休み:日曜・月曜、年末年始

男性相談

相談 **098-868-4011**

電話相談:日曜・月曜 10:00~16:00

※お休み:祝日の月曜、年末年始

編集後記

今号の特集は、男女共同参画週間に行われた、復帰45年、沖縄の男女共同参画社会の基礎作りに奮闘した先輩たちの足跡をたどり、私たちもまた男女共同参画社会のあゆみを進めていきたいとの思いをこめたイベント「継承しよう~女性たちのあゆみを~」のご報告です。

このイベントを受けて誌上講座では、若い女性たちにむけ、今年結成50年となる沖縄県女性団体連絡協議会の活動について、その長い闘いの歴史を現会長の大城さんに紐解いて頂きました。

また、表紙には、ここからやり直そう!との思いから、ジェンダーのもととなる男女混合名簿について県内の取り巻く状況を調査したパネル展の様子を掲載しました。

そして、今年度の新連載「すてきなあなたにインタビュー」はこれからの女性たちに注目し、今、輝く活動を続けている方々をインタビューで紹介していきます。どうぞ、ご期待ください。